

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2013-161205(P2013-161205A)

【公開日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-044

【出願番号】特願2012-21840(P2012-21840)

【国際特許分類】

G 06 F 3/16 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/16 3 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出力装置により再生されるコンテンツの現在の再生時間を読み込み、

前記出力装置により再生される前記コンテンツに対応する字幕情報を表示するように表示部を制御し、

読み込まれた前記コンテンツの前記現在の再生時間に基づいて、前記コンテンツの属性に対応する特徴情報を取得し、

取得された前記特徴情報に基づいて、表示される前記字幕情報に対応する所定の効果を適用するように、前記表示部を制御するように構成される、

回路を備える、情報処理システム。

【請求項2】

前記出力装置により再生される前記コンテンツは、音声コンテンツであり、前記字幕情報は、前記音声コンテンツに対応する、請求項1の情報処理システム。

【請求項3】

前記特徴情報は、前記音声コンテンツのピッチに対応する、請求項2の情報処理システム。

【請求項4】

前記特徴情報は、前記音声コンテンツのテンポに対応する、請求項2の情報処理システム。

【請求項5】

前記特徴情報は、前記音声コンテンツのインテンシティに対応する、請求項2の情報処理システム。

【請求項6】

前記回路は、前記所定の効果として、表示される前記字幕情報の上に視覚効果を重畳するように前記表示部を制御する、請求項1の情報処理システム。

【請求項7】

前記所定の効果は、前記コンテンツの前記属性に対応する波形である、請求項1の情報処理システム。

【請求項8】

前記回路は、表示される前記字幕情報の上に前記波形を重畠するように、前記表示部を

制御するように構成される、請求項 7 の情報処理システム。

【請求項 9】

前記回路は、前記字幕情報に対応するカーソルを表示するように前記表示部を制御し、読み込まれた前記オーディオコンテンツの前記現在の再生時間に基づいて前記カーソルを移動するように、前記表示部を制御するように構成される、請求項 1 の情報処理システム。

【請求項 10】

前記回路は、取得された前記特徴情報に基づいて前記所定の効果を前記カーソルに適用するように、前記表示部を制御するように構成される、請求項 9 の情報処理システム。

【請求項 11】

前記回路は、取得された前記特徴情報に基づいて前記所定の効果を前記カーソルの先端部に適用するように、前記表示部を制御するように構成される、請求項 9 の情報処理システム。

【請求項 12】

取得される前記特徴情報は、前記コンテンツのピッチ又はインテンシティに対応し、前記回路は、前記コンテンツのピッチ又はインテンシティに対応する、取得された前記特徴情報に基づいて、前記カーソルのサイズを変更するように前記表示部を制御する、請求項 10 の情報処理システム。

【請求項 13】

取得された前記特徴情報が、前記コンテンツのピッチ又はインテンシティが上がることを示す場合、前記回路は、前記カーソルの前記サイズを拡大させるように前記表示部を制御する、請求項 12 の情報処理システム。

【請求項 14】

取得された前記特徴情報が、前記コンテンツのピッチ又はインテンシティが下がることを示す場合、前記回路は、前記カーソルの前記サイズを縮小させるように前記表示部を制御する、請求項 12 の情報処理システム。

【請求項 15】

前記出力装置によって再生される前記コンテンツは、動画データと、前記動画データに対応する前記字幕情報と、を含む、請求項 1 の情報処理システム。

【請求項 16】

前記回路は、表示される前記字幕情報に含まれるテキスト文字に前記所定の効果を適用するように構成される、請求項 1 の情報処理システム。

【請求項 17】

前記テキスト文字に適用される前記所定の効果は、前記テキスト文字のサイズ、形状、色、及び表示角度のうち少なくとも 1 つを変更することを含む、請求項 16 の情報処理システム。

【請求項 18】

前記回路は、読み込まれた前記コンテンツの前記現在の再生時間に基づいて、前記所定の効果を前記テキスト文字の先頭の文字に適用するように構成される、請求項 17 の情報処理システム。

【請求項 19】

情報処理システムにより実行される方法であって、
出力装置により再生されるコンテンツの現在の再生時間を読み込むことと、
前記出力装置により再生される前記コンテンツに対応する字幕情報を表示するよう表示部を制御することと、
読み込まれた前記コンテンツの前記現在の再生時間に基づいて、前記コンテンツの属性に対応する特徴情報を取得することと、
取得された前記特徴情報に基づいて、表示される前記字幕情報に対応する所定の効果を適用するために前記表示部を制御することと、
を含む方法。

【請求項 20】

出力装置により再生されるコンテンツの現在の再生時間を読み込むことと、
前記出力装置により再生される前記コンテンツに対応する字幕情報を表示するように表
示部を制御することと、
読み込まれた前記コンテンツの前記現在の再生時間に基づいて、前記コンテンツの属性
に対応する特徴情報を取得することと、
取得された前記特徴情報に基づいて、表示される前記字幕情報に対応する所定の効果を
適用するために前記表示部を制御することと、
を含む処理を、回路に実行させるコンピュータプログラム命令を含む、非一時的コンピ
ュータ可読媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

<2. ハードウェア構成例>

まず図3を参照しながら、本開示の一実施形態に係る語学学習装置100のハードウェア構成の一例について説明する。図3は、同実施形態に係る語学学習装置100のハードウェア構成の一例を示すブロック図である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

<3. 機能構成例>

次に、図4を参照しながら語学学習装置100の機能構成の一例について説明する。図4は、同実施形態に係る語学学習装置100の機能構成の一例を示すブロック図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

表示制御部170は、再生制御部150の制御に従って表示部175の出力する表示画面の内容を制御することができる。表示制御部170は、再生制御部150の指定するコンテンツ中の指定された再生箇所を表示するように表示部175の表示画面の内容を制御することができる。表示制御部170は、音声出力部165が出力中の音声の特徴に基づいて形態が変化するアニメーションオブジェクトの表示を制御することができる。ここでアニメーションオブジェクトは、例えば音声の内容を示すテキスト上に重畠して表示されるオブジェクトであってよい。またアニメーションオブジェクトは、例えば音声の内容を示すテキストに含まれる文字であってよい。表示制御部170は、アニメーションオブジェクトの形態を変化させることにより、アニメーションで音声の特徴を示すことができる。ここでアニメーションオブジェクトの形態とは、例えば形状、サイズ、色、表示角度などであってよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0041】****<4.表示画面例>**

次に、図5及び図6を参照しながら、本実施形態に係る語学学習装置100の表示する表示画面例について説明する。図5は、同実施形態に係る語学学習装置100の表示する表示画面の第1の例である。図6は、同実施形態に係る語学学習装置100の表示する表示画面の第2の例である。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0045****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0045】****<5.音声特徴情報の例>**

次に、図7～図9を参照しながら、本開示の一実施形態に係る語学学習装置100の用いる音声特徴情報の一例について説明する。図7は、同実施形態に係る語学学習装置100の用いる音声特徴情報について説明するための説明図である。図8は、同実施形態に係る語学学習装置100の用いる音声特徴情報を含む字幕情報の一例を示す説明図である。図9は、同実施形態に係る語学学習装置100が音声特徴情報を用いて行う再生制御の一例を説明するための説明図である。

【手続補正7】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0050****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0050】****<6.アニメーション例>**

次に、図10～図12を参照しながら、本開示の一実施形態に係る語学学習装置100の表示するアニメーションオブジェクトの表示例について説明する。図10は、同実施形態に係る語学学習装置100が音声の特徴に基づいて表示するアニメーションの一例を示す説明図である。図11は、同実施形態に係る語学学習装置100が音声の特徴に基づいて表示するアニメーションの他の一例を示す説明図である。図12は、同実施形態に係る語学学習装置100が音声の特徴に基づいて表示するアニメーションの他の一例を示す説明図である。

【手続補正8】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0054****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0054】****<7.動作例>**

次に図13及び図14を参照しながら、本開示の一実施形態に係る語学学習装置100の動作例について説明する。なお、ここでは図5に説明した映画などの動画像コンテンツを用いた語学学習サービスを提供する第1の表示画面を提供する場合の第1の動作例と、図6に説明したテキストコンテンツに対して選択した箇所の音声を出力する第2の表示画面を提供する第2の動作例とについてそれぞれ説明する。図13は、同実施形態に係る語学学習装置100の第1の動作例を示すフローチャートである。図14は、同実施形態に係る語学学習装置100の第2の動作例を示すフローチャートである。